

公益財団法人 石巻市芸術文化振興財団

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 29 年 6 月 29 日

市所管部署 石巻市 教育委員会生涯学習課

2 法人名称等

法人名称 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団
 法人所在地 石巻市 成田字小塚裏畑54
 設立年月日 平成 1 年 2 月 22 日
 代表者職・氏名 理事長 阿部和夫

設立目的・経過
 目的：芸術文化事業を展開することにより、広く芸術文化及び地域社会の発展に寄与する。
 経過：H1法人設立、市民会館・明芳館・友心館を管理受託。H8文化センターを管理受託。H16スポーツ振興財団と統合。H18～H23市民会館、文化センターの指定管理者。H26～河北総合センター、遊楽館の指定管理者。

3 定款上の事業内容

- (1) 芸術文化活動の普及振興に関する事業
- (2) コミュニティ活動の促進及び支援に関する事業
- (3) 芸術文化活動及びコミュニティ活動の推進を目的とした公共施設での管理運営に関する事業
- (4) その他、目的を達成するために必要な事業
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
101,091 千円	100,000 千円	98.9 %	個人	1,000 千円	1.0 %
			個人	50 千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	9	10	10
うち市職員	2	1	1
うち市退職者	1	2	2
計	10	11	11
うち市職員	2	1	1
うち市退職者	2	3	3

(2) 職員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	28	27	27
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	2	2	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	2	2	1
計	30	29	28
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	2	2	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

石巻市にふさわしい芸術文化の振興と心豊かな市民生活の形成による地域社会の発展に寄与する公益財団法人の役割を果たす。

平成25年4月1日に公益財団法人として新たにスタートしたが、これまで以上に公共性・公益性が重視されるとともに、さらなる効率的かつ効果的な法人運営が求められる。このような状況下、各種事業を継続的・安定的に展開できるよう常に検討を行いながら、地域や各関係機関との連携をも深め、質の高いサービスの提供に努める。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
事業実施にかかる総集客数	人	目標計画	6,000	6,500	7,000	7,500	8,000
		実績	11,937	9,375			
目標・指標の説明			主たる目的である芸術文化の普及振興状況をはかる一つ的手段として集客数を掲げるが、目的の達成度合いを人数や件数のみで読み取ることは困難であり、実施に至るまでの経過や実施目的及び内容が最も重要視されるべきものとする。平成28年度は前期を下回る結果となったが、事業規模の大小、実施可能なタイミングによって、年度ごとの実績に変動が生じるのは当然のことであり、より多くのニーズに応えるための幅広い事業展開が必要なことから、中期的な視点で実績が評価されるべきと考える。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
芸術文化の普及振興事業	指定管理施設及び学校等を活用し、要望に応じた公演を各所で実施した。	大ホールの補完策として、アリーナ等を活用した事業の企画運営を実施し、公演事業の多様化を図ることができた。また、チケットの完売、満席が続き鑑賞者から大変好評であった。	指定管理施設等を活用した芸術文化事業を効率よく実施し、施設利用者に対し、芸術文化の普及振興を図ることができた。
事業の公共性、公益性	芸術文化活動の普及振興を図ることを目的に実施するものであり、鑑賞や体験を通じて広く芸術文化の発展に寄与するものである。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
震災復興支援並びにコミュニティ活動の促進及び支援事業	支援事業としての公演及び仮設住宅の集会所等における出前公演を開催し、幅広い層に対し、芸術文化事業の鑑賞機会を提供することができた。	芸術文化活動を通じ、被災者への復興支援に努めた。仮設住宅から復興住宅等へ居住地がシフトしていく中で、日々変化する要望に応えられるよう努めたいと考える。	支援による事業の実施の他、地域住民の要望を取り入れた事業を実施したことにより、鑑賞者からの評価を得ることができた。
事業の公共性、公益性	芸術文化活動の普及振興を図る目的と併せ、当財団が実施する芸術文化活動を通じ、震災からの復興支援を行い、ひいては地域のコミュニティ活動の活性化を図るきっかけづくりに寄与するものである。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団
------	-------------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動資産	69,370	67,587	▲ 1,783	78,437	10,850
うち 現金・預金	67,290	65,329	▲ 1,961	76,196	10,867	
固定資産	120,515	137,223	16,708	139,726	2,503	
(1) 基本財産	101,074	101,083	9	101,091	8	
(2) 特定財産	18,127	33,127	15,000	36,575	3,448	
(3) その他の固定資産	1,314	3,013	1,699	2,060	▲ 953	
資産の合計	189,885	204,810	14,925	218,163	13,353	
貸方（科目）		平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
流動負債	23,801	21,639	▲ 2,162	22,858	1,219	
うち 短期借入金	0	0	0	0	0	
固定負債	18,127	17,953	▲ 174	18,575	622	
うち 長期借入金	0	0	0	0	0	
負債合計	41,928	39,592	▲ 2,336	41,433	1,841	
正味財産	147,957	165,218	17,261	176,730	11,512	
指定正味財産	101,074	101,083	9	101,091	8	
うち 基本財産への充当額	101,074	101,083	9	101,091	8	
うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0	
一般正味財産	46,883	64,135	17,252	75,639	11,504	
うち 基本財産への充当額	0	0	0	0	0	
うち 特定資産への充当額	0	15,174	15,174	18,000	2,826	
負債・正味財産の合計	189,885	204,810	14,925	218,163	13,353	

正味財産増減計算書	科目	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	30,923	17,252	▲ 13,671	11,504	▲ 5,748
經常増減の部	30,923	17,252	▲ 13,671	11,504	▲ 5,748	
經常収益	267,537	267,762	225	266,564	▲ 1,198	
經常費用	236,542	250,438	13,896	254,988	4,550	
評価損益等計（法人税等）	▲ 72	▲ 72	0	▲ 72	0	
經常外増減の部	0	0	0	0	0	
經常外収益	0	0	0	0	0	
經常外費用	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高	15,960	46,883	30,923	64,135	17,252	
一般正味財産期末残高	46,883	64,135	17,252	75,639	11,504	
指定正味財産増減の部	8	9	1	8	▲ 1	
指定正味財産増減額	8	9	1	8	▲ 1	
指定正味財産期首残高	101,066	101,074	8	101,083	9	
指定正味財産期末残高	101,074	101,083	9	101,091	8	
正味財産期末残高	147,957	165,218	17,261	176,730	11,512	

（※）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
事業活動によるキャッシュ・フロー	33,587	18,417	▲ 15,170	13,079	▲ 5,338
事業活動収入計	267,538	267,589	51	264,455	▲ 3,134
事業活動支出計	▲ 233,951	▲ 249,172	▲ 15,221	▲ 251,376	▲ 2,204
			0		0
			0		0
			0		0
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,470	▲ 18,037	▲ 14,567	▲ 3,448	14,589
投資活動収入計	0	0	0	2,282	2,282
投資活動支出計	▲ 3,470	▲ 18,037	▲ 14,567	▲ 5,730	12,307
			0		0
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0	0	0
			0		0
			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	30,117	380	▲ 29,737	9,631	9,251
現金及び現金同等物期首残高	15,452	45,569	30,117	45,949	380
現金及び現金同等物期末残高	45,569	45,949	380	55,580	9,631

（※1）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
委託料及び指定管理料	246,292	246,458	166	239,182	▲ 7,276
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金	0	0	0	0	0
長期借入金	0	0	0	0	0
出資・出捐（期末時）	0	0	0	0	0
債務保証額（期末残高）	0	0	0	0	0
損失補償額（期末残高）	0	0	0	0	0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）	0	0	0	0	0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

資産総額は前年比 13,353 千円増の 218,163 千円である。正味財産は総体で前年比 11,512 千円増の 176,730 千円となっており、前期と同様に健全な経営状況である。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
流動資産	前年比 10,850 千円の増額	前年と比較し、特定資産の積立額を 15,000 千円から 3,000 千円に減額したこと等による。
流動負債	前年比 1,219 千円の増額	当期は退職者があり、未払金としての退職金 (2,263 千円) の計上、及び、前受金(次期の入場料収入)の減額(△1,486 千円)等による。
一般正味財産	前年比 11,504 千円の増額	指定管理事業における、施設経費の削減(光熱水料費 △1,632 千円、消耗什器備品費 △2,979 千円)等により、指定管理事業収益との差額が生じたこと等による。

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

経常収益については、事業収益のうち芸術文化事業収益の入場料等収益の増額、芸術文化事業受託収益の減額(前年は『NHK のど自慢』を実施したことによる)、ささえあい拠点センター管理業務受託収益の減額、及び退職給付引当資産取崩額の計上等により、前年比 1,198 千円減の 266,564 千円となった。経常費用については、指定管理業務の経費は削減(光熱水料費及び消耗什器備品費等の減額)しているが、芸術文化事業においては、特に公演鑑賞事業の開催数を増やし実施したことにより、委託料(公演契約料)等が増額した。また、退職者があったことから退職金及び退職給付費用を計上し、これ

により、経常費用の総体としては前年比 4,550 千円増の 254,988 千円となった。
 一般正味財産増減額は、5,748 千円減の 11,504 千円となった。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
経常収益	前年比 1,198 千円の減額	事業収益のうち芸術文化事業収益の入場料収益の増額 (3,844 千円)、芸術文化事業受託収益の減額 (△4,585 千円※前年は『NHK のど自慢』を実施したことによる)、ささえあい拠点センター管理業務受託収益の減額 (△2,691 千円)、退職給付引当資産取崩額の計上 (2,109 千円) 等による。
経常費用	前年比 4,550 千円の増額	指定管理業務における光熱水料費 (△1,632 千円)、消耗什器備品費 (△2,979 千円) 等の減額、及び、芸術文化事業については、特に公演鑑賞事業の開催数を増とし実施したことにより、委託料 (6,923 千円 公演契約料) の増額、また、退職者があったことから退職金 (2,263 千円) 及び退職給付費用 (2,731 千円) を計上したことによる。
一般正味財産 期末残高	前年比 11,504 千円の増額	指定管理事業における収益に対し、費用としては施設管理コストの削減等を行ったことによる利益。

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

事業活動収入については、芸術文化事業の入場料等収入の増額、芸術文化事業受託収入の減額、ささえあい拠点センター管理業務受託収入の減額等により、前年比 3,134 千円減の 264,455 千円となった。事業活動支出については、指定管理事業の経費は削減（光熱水料費及び消耗什器備品費等の減額）しているが、芸術文化事業については、特に公演鑑賞事業の開催数を増やし実施したことにより、委託料（公演契約料）等が増額した。これにより、支出総体として前年比 2,204 千円増の 251,376 千円であった。

投資活動収入においては、退職給付引当資産取崩収入の計上により、前年比 2,282 千円増の 2,282 千円であった。投資活動支出については、特定資産取得支出の減額及び退職給付引当資産取得支出の増額等により、前年比 12,307 千円減の 5,730 千円であった。

現金及び現金同等物の増減額は、前年比 9,251 千円増の 9,631 千円であった。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
事業活動	前年比 5,338 千円の減額	事業活動収入の減額（△3,134 千円）については、入場料等収入の増額（3,844 千円）、芸術文化事業受託収入の減額（△4,585 千円）、ささえあい拠点センター管理業務受託収入の減額（△2,691 千円）等による。事業活動支出の増額（2,204 千円）については、指定管理事業における光熱水料費（△1,632 千円）、消耗什器備品費（△2,979 千円）等の減額、芸術文化事業における、委託料（6,923 千円 公演契約料）等の増額等による。これらの収支差額として 5,338 千円減額の 13,079 千円となった。
投資活動	前年比 14,589 千円の増額	投資活動収入の増額（2,282 千円）については、退職給付引当資産取崩収入の増額（2,282 千円）による。投資活動支出の減額（△12,307 千円）については、財団設立 30 周年記念事業積立

		資産取得支出の減額（△12,000千円）、固定資産取得支出の減額（△2,902千円）、退職給付引当資産の増額（2,731千円）による。 これらの収支差額として、14,589千円増額の△3,448千円となった。
現金等の増減額	前年比 9,251千円の増額	投資活動による収支差額が、前年と比較し増額したことによる。

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額（単位：円）	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料（単位：円）	委託業務の内容
震災復興文化芸術事業業務	14,040,000	震災復興文化芸術事業業務
河北総合センター管理運営業務、多目的ふれあい交流施設管理運営業務	197,811,000	指定管理業務
ささえあい拠点センター管理運営業務	27,330,819	ささえあい拠点センター管理運営業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額（単位：円）	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団

担当部署名：教育委員会生涯学習課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

平成26年度期より河北総合センターおよび遊楽館の指定管理者として、芸術文化の普及振興に関する事業を展開し、前期同様に目標を上回る実績を示している。平成28年度の実績は前期には及ばなかったが、事業内容によって変動が生じるのは当然のことであるとともに、芸術文化の性質上、その成果を集客数だけで評価することは困難である。今後の数値目標という点では、内容を精査した上で状況により判断することとしたい。

（2）主要事業の成果、課題

指定管理者として施設の管理運営を実施するとともに、管理施設を活用した芸術文化事業を効率よく展開でき、鑑賞者に好評を博したこと、また、管理施設に留まらず、学校等を活用した事業を実施することで、芸術文化活動の普及振興に寄与しているといえる。

しかし、復興支援事業については、仮設住宅から復興住宅等へ移住地の変化や、支援の先細りが生じるものと予想されるので、継続性を図りつつもニーズに対して柔軟に対応することが望ましいと考えられる。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

26年度期より指定管理事業を実施したことにより、震災後は不安定であった経営方針が定まったことで、28年度期も引き続き利益を計上している。これは、財団設立以来培われてきた運営ノウハウを活かし、効率的な運営が図られたことによるものであり、大変良好な経営状況であると判断する。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

28年度期においては、震災以前からの指定管理業務の経験を活かし、効率のよい運営が図られたことにより、公演鑑賞事業を拡充しながらも、施設管理コストの削減による費用の減額から利益が生じた。良好な経営状況と判断する。

(3) キャッシュフロー計算書

適正な管理状況にあると考えるので、今後とも安定した経営を期待する。

(4) 市による財政・金融支援等

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

平成元年の設立以来一貫して芸術文化の振興を担っており、公共施設の指定管理等を通して、効率的、安定的な運営を期待するものである。

東日本大震災以降、厳しい経営状況にあったが、これは市民会館および文化センターの指定管理ができなくなり、法人を維持しながらも収入のない中で事業展開せざるを得なかった結果である。

しかしながら、内部留保の充当や職員の給与削減等による努力に加え、仮設住宅集会所の管理および舞台管理等の受託業務を実施し、25年度期以降は良好な経営状況に回復した。26年度期からは河北総合センターと遊楽館の指定管理業務の効率的な運営により利益が生じている。28年度期には芸術文化事業、なかでも公演開催事業を拡充するために資金を投入しながらも利益を計上している。今後とも安定した経営状況であることを期待する。